

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	日々の会話記録の中から入居者一人ひとりの思いや暮らし方の希望を把握・分析し対応しているが、長期的・短期的、日常生活面、心理面など細部にわたっているとは言えない。	アセスメント方法を見直すとともに、記録を最大限活用し、一人ひとりの細部にわたる思いや希望を実現させる。	身体健康、日常生活、社会生活、心理面などあらゆる面からアセスメントできるように記録方法を見直し、内容を活用できるよう職員間で共有していく。	6ヶ月
2	54	居室が寝る場所だけになっており、一人で寛ぐ場所になっていない。	一人ひとりの住み心地の良い部屋を入居者と一緒になって考え、心身状況に応じた環境を整える。	家族に協力をいただきながら調度品を整備していき、家具などの配置を考慮し、本人が希望する環境を居室入口から整えていく。	6ヶ月
3	33	重度化や終末期に向けた取り組みについて事業所内で協議をすすめているが、職員研修や家族との連携は進んでいない。	職員研修を重ね、家族との連携を密にし、実践に向けた取り組みを行う。	職員・家族を含めた研修会の実施 家族との面接をはじめとした連携強化	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月